



使いやすい、薄めて使うタイプの洗口液

コンクールF 100mL 患者様価格 1,000円(税抜)

医薬部外品

コンクールFとは…

グルコン酸クロルヘキシジンとグリチルリチン酸アンモニウムを主成分とした
薬用洗口液です。歯周病ケアをはじめ予防歯科製品として、患者様にお奨めください。

薬用成分

成 分 名	作 用
グルコン酸クロルヘキシジン(0.05%未満)	殺菌・静菌作用
グリチルリチン酸アンモニウム	消炎作用

その他の成分

成 分 名	配合目的
ø・メントール	矯味剤
緑茶抽出成分	矯味剤

報告されているグルコン酸クロルヘキシジンの口腔内への作用

- ①歯肉炎減少効果 ②抗カンジダ、抗ウィルス作用 ③プラーク抑制効果 ④ウ蝕抑制効果
- ⑤義歎口内炎 ⑥術前洗口 ⑦術後洗口

コンクールFのウ蝕・歯周病関連菌に対する増殖抑制効果

監修:愛知学院大学歯学部 教授 野口俊英

試験方法 試験方法は、日本化学療法学会標準法にて行いました。

- 1 コンクールFの調製… サンプルを滅菌蒸留水にて10倍の段階希釈系列を1~10¹⁰を作成する。対照として滅菌蒸留水のみを加えた。
- 2 接種菌液の調製…… 新鮮な菌株を滅菌生理食塩水にて10⁷cfu/mLに調製する。
- 3 寒天培地への接種 …… 1で調製したサンプル希釈液に2で調製した菌液を9:1の割合で混和し、20秒間室温で放置後、平板希釈法に従い、定量白金耳(1µL)で接種した。
- 4 培養条件 …… 37°C 7日間培養を行った。
- 5 判定方法 …… 上記の工程を測定日を変え、2回行った。完全に発育を阻止した最小濃度を判定した。

結果

試験結果は、<表1>に示すとおり、対象の菌株に対して増殖抑制効果を示しました。
増殖阻止をした時のコンクールFの最小濃度(最小発育阻止濃度)で示しました。

<表1>コンクールFの菌株別最小発育阻止濃度(MIC)

対 象 菌	MIC	対 象 菌	MIC
Tannerella forsythensis (Bacteroides forsythus)	0.009%	Capnocytophaga	0.009%
Fusobacterium nucleatum	0.045%	Eikenella corrodens 23834	0.09%
Actinobacillus actinomycetemcomitans	0.0009%	Actinomyces viscosus 15987	0.09%
Prevotella intermedia	0.0045%	Actinomyces viscosus T-6	0.009%
Porphyromonas gingivalis 33277	0.009%	Streptococcus mutans	0.009%
Porphyromonas gingivalis W83	0.009%	Streptococcus sanguis	0.009%
Lactobacillus casei	0.009%	Streptococcus mutans I	0.009%

上記細菌に対して、50mLの水にコンクールF約2滴で最小発育阻止濃度(MIC)になります。

●コンクールFご使用のユーザーの90%以上の方が、効果及び使用感に満足されています。(当社データ)